

2 - 2 重点事業評価

事業名

広域サービスの充実

(1) 事業の概要

● 対象

図書館に直接来館する利用者だけでなく、距離的理由や身体的理由などにより、来館が困難な利用者。

● 意図・目的

相互貸借制度の拡充や、遠隔地返却サービスの導入と当館の独自データベースの充実によってインターネット等の電子媒体を活用した情報提供サービスの充実を図ることにより、県立図書館のサービスを「だれでも」「いつでも」「どこからでも」利用できる環境の整備を進めていく。

● 令和元年度の具体的取組（概要）

- ①地域の図書館を通じて県立図書館の資料を利用する相互貸借送料について、これまでの往路負担から往復負担に拡充するとともに、県立図書館から借りた資料を地域の図書館で返却する「遠隔地返却サービス」の促進を図る。
- ②ナクソス・ジャパンが運営するインターネット音楽配信サービスを、県立図書館ホームページを経由して県民へ提供する。
- ③県立図書館及び公立図書館、博物館等が所蔵する新潟県関係歴史資料をデジタル化しホームページ上で公開することにより、情報利用の利便性を向上させるとともに、貴重資料の適切な保存を図る。

(2) 指標① 達成目標：3年後に7、000冊

項目（指標）	達成目標（数値）			実績
	H30	R1	R2	
県立図書館から県内市町村図書館等への相互貸借冊数	5、500冊	6、200冊	7、000冊	6、773冊 (109%)

指標② 達成目標：3年後に15、000件（各年度1、000件ずつ増加）

項目（指標）	達成目標（数値）			実績
	H30	R1	R2	
音楽ライブラリーアクセス件数	13、000件	14、000件	15、000件	12、817件 (92%)

(3) 事業評価（自己評価）

自己評価	C	指標①は前年度に続いて目標数値を上回ったが、指標②は、前年度実績を上回ったものの目標数値を下回る結果となったため、C評価となった。
------	---	---

AA 目標が十分に達成された。

A 目標が達成された。

B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。

※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

項目	項目の解説	状況
必要性	利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。	広域サービスの充実は、県内全域をサービス対象とする県立図書館の重要な使命のひとつであり、指標設定は妥当と考えられる。
有効性	期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。	県内市町村立図書館等への相互貸借冊数については、期待どおりの成果を得られた。一方、音楽ライブラリーアクセス件数は、目標は達成できなかったが、前年度実績を上回る結果となった。
効率性	事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。	相互貸借と遠隔地返却サービスについては、市町村立図書館への協力要請、広報、梱包の省力化を図るなど、効率性を考慮しつつ取り組んだ。 音楽ライブラリーについては、会議・研修会でのPR、よりわかりやすい利用案内の作成等を行ったが、大幅な利用増までには至らなかった。

(4) 次年度の展開

方向性・問題点・改善点など
<p>広域サービスの充実は、県立図書館の重要な使命であることから、市町村との連携強化を図りつつ、令和2年度の目標達成に向け、重点的に取り組んでいく。</p> <p>指標②については、大学との連携をはじめ、会議・研修会でのポスターセッションやパワーポイントでのPR、視聴体験コーナーの設置など、アクセス件数の増加を目指し、より効果的な広報や新たな利用促進策を実施する。</p>

(5) 図書館協議会意見

<p>今年度の臨時休館の経験を踏まえて、「意図・目的」に掲げている「インターネット等の電子媒体を活用した情報提供サービスの充実を図る」ことがより一層重要であるとする。</p> <p>市町村図書館等への貸出冊数が増加している実績は高く評価される。市町村図書館等との連携強化のために、様々な新しい取組みを打ち出していくことが必要であるとする。「音楽ライブラリーアクセス件数」について、大学との連携などの次年度の展開が期待されるが、一方で、今年度の問題点や改善点を明らかにすることも必要である。</p> <p>併せて、委員からの以下の要望について、取組みを求めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の図書館等に保存されている、県立図書館に所蔵されていない資料等のデジタルアーカイブ化 ・越後佐渡デジタルライブラリーにおける許諾なく利用できる画像等の、パブリックドメイン、あるいは、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの明示
